

孝行の巻

この命、大蛇に捧ぐ

シネマ組踊

シネマ組踊

日本語字幕付

一人の少女が家族を救う、三〇〇年前の物語。

重要無形文化財
ユネスコ
無形文化遺産

琉球王朝から受け継がれる歌舞劇「組踊」
知られざる沖縄の古典芸能 初の劇場映画化!!

組踊

くみおどり



第14回
沖縄国際映画祭
特別招待作品

文部科学省選定
令和4年8月9日
一般劇映画 青年・成人・家庭向き

2022年
京都国際映画祭
正式招待

映文連アワード2022
優秀企画賞受賞

「褪せることのない鮮やかな文化に、今、触れることが叶う。」 - Cocco (シンガーソングライター)

「この映画が組踊の観方を変えた!」 - 照屋年之 (映画監督/ガレッジセール・ゴリ)

「物語後半に訪れる劇的空間における劇的瞬間を目撃して頂きたい」 - 中江裕司 (映画監督)

娘は家族のために、自ら犠牲になると決めた

田畑を荒らす大蛇を鎮めるため、王府は生贄を募るお触れを国中に出した。ある日、父親に先立たれ母を支えながら貧しく暮らす姉弟が落穂拾いの際にお触れ書きを見つける。姉は母や弟のために自ら犠牲になろうと王府へ申し出る。生贄の儀式の日、大蛇が出現し娘を飲み込もうとする瞬間...

伝統芸能は初めて、という人にこそ見てほしい

本編前に組踊の歴史や特徴などの解説がなされ、わかりやすい字幕をつけることで、初めてみる人も世界に入りやすく堪能できる。



くみおどり シネマ組踊とは

「シネマ組踊」は約300年間受け継がれる「組踊」を新しい切り口で映像化するプロジェクト。実力派出演陣と沖縄の映画制作を支える一流のスタッフが集結し、組踊の様式美や舞台ではみられない役者の繊細な表情、緊迫感溢れる演奏者の音楽、流麗なセリフ回しなど、組踊の魅力をあますところなく映像で捉えることに成功した。
監督は「アンを探して」でシンガポールの新人映画祭(AFF)で邦人初のグランプリ・監督賞を受賞した沖縄県出身の宮平貴子。

くみおどり 組踊とは

琉球王国時代1719年に躍奉行・玉城朝薫が創始した、琉球独自の歌舞劇。琉球の伝説を元に琉球舞踊や琉球古典音楽を基礎とし、日本や中国の芸能に影響を受けながら発展した。始祖朝薫の5作品のほか約70作品有るといわれ、現在も新作が誕生している。
沖縄が本土復帰した1972年5月15日には国の重要無形文化財に指定され、2010年にはユネスコ無形文化遺産リストに登録された。



沖縄の伝統芸能×映像の融合「シネマ組踊」

宇座仁一 田口博章 金城真次 佐辺良和 嘉数道彦 伊藝武士 嘉数幸雅 高井賢太郎 砂川博仁 平田智之 下地心一郎 高江州一平 仲村逸夫 棚原健太 徳田泰樹 池間北斗 澤井每里子 森田夏子 宮里和希

シネマ組踊案内人 宮城さつき 声の出演 幸地松正

組踊指導 眞境名正憲 / 撮影監督 砂川達則 / 撮影 伊志嶺悟 小橋川和弘 比嘉誠 / 撮影協力 大城学 / 撮影助手 山田晋 謝久村海音 / 照明 国吉強 福川弘一 米山博樹 / 特撮 島越博文 仲宗根理 大城幹 録音 佐藤祐美 / カラリスト 小野寛明 / 制作担当 米原直樹 / 助監督 神谷邦昭 / アソシエイトプロデューサー 瀧川辰彦 / 舞台監督 山本茂樹 / 特効 宮城正幸 / 扮装結髪 狐島岳奈 協力 国立劇場おきなわ / 配給協力 株式会社ミカタ・エンタテインメント / 宣伝 ムービー・アクト・プロジェクト / メインビジュアル 前山田留美

監督: 宮平貴子 プロデューサー: 大野順美 横澤匡広 制作: 株式会社エコーズ 配給: 株式会社クルビジョン 製作: 一般社団法人ステージサポート沖縄

後援: 沖縄県 浦添市 沖縄テレビ放送株式会社 琉球放送株式会社 琉球朝日放送株式会社 ラジオ沖縄株式会社 株式会社エフエム沖縄 琉球新報社 沖縄タイムス社 協賛: 沖縄国際大学 あしひかんばにー



『シネマ組踊 孝行の巻』特設サイト



熱狂した東京、大阪、名古屋、京都、仙台、栃木...全国公開中のなか
シネマパレットで**凱旋上映決定!**
5月19日(金)より2週間(1日1回)の限定上映
上映時間・舞台挨拶などの日程は決まり次第特設サイトに掲載

シネマパレット
シネマパレット
(パレット久茂地9F)
TEL098-869-4688